

Ciné-là 5

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

fiaf

国際フィルム・アーカイヴ連盟=FIAFは映画の保存を目的とする国際団体です。福岡市総合図書館はFIAFの会員です。

May.2012 vol.183

小津安二郎、木下恵介と並んで
松竹三大巨匠と称された渋谷実監督の特集。

特別企画

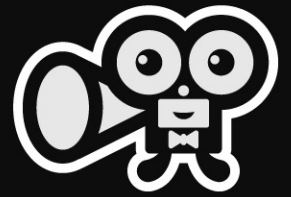
松竹キネマ90周年記念

喜劇映画の異端児 渋谷実監督特集

小津安二郎、木下恵介と並んで松竹三大巨匠と称された渋谷実監督の特集。

松竹キネマ90周年記念

喜劇映画の異端児 渋谷実監督特集



主催：福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ実行委員会
一般社団法人コミュニティシネマセンター

共催：東京国立近代美術館フィルムセンター

協力：松竹株式会社

※松竹映画の歴史は1920年の「松竹キネマ合名会社」の設立に始まります。

今回の企画は松竹キネマ90周年を記念したものです。



会期：5月3日(木・祝)～5月27日(日)

※休館日・休映日除く

観覧料：600円(大人)/500円(大学生・高校生)
400円(中学生・小学生)

※定員制。各回入替制。

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

※障がい者の方及び福岡市在住の65歳以上の方は300円。(手帳の提示が必要です。)

※「わの会」会員は300円(会員証の提示が必要です。)

3(木・祝) 11:00 | 11(金) 14:00 | 19(土) 11:00

奥様に知らずべからず

恐妻家の横山は、行きつけのクラブで同じく妻に頭があがらない川田と知り合う。ある日横山の妻のふみ子は銀座で買い物をしていて、川田の妻のみつ子と店に一つしかないハンカチの取り合いになる。侮辱されたふみ子は横山をせき立て、ついに横山と川田は決闘することになる。夫婦の関係をコミカルに描いた渋谷実の監督デビュー作。東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵作品



©1937松竹

1937年/35ミリ/61分/モノクロ
松竹
監督：渋谷実
出演：斎藤達雄 岡村文子

3(木・祝) 14:00 | 12(土) 11:00 | 24(木) 14:00

自由学校

のんびり屋の南村は口うるさい妻の駒子が嫌になり、会社を辞めて家を出てしまう。念願の自由を手に入れた南村は、橋の下に住む浮浪者の仲間になる。一方駒子にも求婚者が現れたりするが、内心は夫の行方が気になってしかたがない。獅子文六の小説を、原作に忠実に映画化した渋谷実監督の代表作の一本。戦後の混乱した日本社会が痛烈に風刺されている。



©1951松竹

1951年/35ミリ/モノクロ/109分
松竹
監督：渋谷実
出演：高峰三枝子 佐分利信

4(金・祝) 14:00 | 12(土) 17:00 | 26(土) 11:00

現代人

建設局の荻野課長は業者の岩光土木工業と汚職を重ねていた。新しい部下の小田切は若く真面目な好青年で、荻野はこれを機に岩光と手を切ろうと考える。ところが岩光は様々な手で荻野に迫る。一方小田切も汚職の関係を知らず、見事な手続きで汚職を隠し、自ら仲間に加わるのだった。戦後のドライな若者像を池部良が好演する渋谷実監督の代表作の一本。テンポの良い演出にも注目。



©1952松竹

1952年/35ミリ/モノクロ/112分
松竹
監督：渋谷実
出演：池部良 山村聡

4(金・祝) 11:00 | 11(金) 11:00 | 19(土) 17:00 | 23(水) 14:00

本日休診

東京の下町。三雲八春先生の三雲医院は開業して1周年を迎えようとしていた。看護婦さんたちは温泉旅行に出かけ、「本日休診」の札を出した三雲先生は、のんびり休日を楽しもうと思っていた。その矢先、戦地帰りの勇作が発作を起こしたという知らせが飛び込んでくる。勇作は町の人に号令をかけ、敬礼を強要するのだ。その後暴漢に襲われたという娘が、警官に連れられてやって来る。若いヤクザがやって来て指を切ってくれと言って先生を困らせたりと、休日にもかかわらず、三雲先生は大忙しの日になってしまう。

本作のシナリオは、井伏鱒二の短編小説「本日休診」を元に、短編「遙拝隊長」を巧みに組み込んでアレンジしたものである。戦後間もない頃の下町の人々の生活をユーモアとペースを込めて描いた作品で、風俗喜劇の監督としての渋谷実の地位を確立した傑作である。ただし渋谷監督は単なるコメディの監督でなく、その作品には優れた社会批判を内在させており、本作においても人情味豊かな人々の生活の中から、戦争への怒りがしっかりと伝わってくる。



©1952松竹

1952年/35ミリ/モノクロ/97分/松竹
監督：渋谷実 出演：柳永二郎 三国連太郎



5 (土・祝) 11:00 | 13 (日) 11:00 | 25 (金) 14:00

正義派

バスの運転手・藤田は二日酔いでバスを運転して女の子を轢いてしまい、警察に出頭する。バスの乗客に対して警察の事情聴取が行われるが、藤田の後輩で同じ会社に勤務する清太郎は、正義感から藤田の過失と言い切ってしまう。清太郎は会社の同僚から冷たい視線を浴びることになる。志賀直哉の小説「正義派」「清兵衛と瓢箪」を元に脚本化された渋谷監督の力作。東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵作品



©1957松竹
1957年/35ミリ/モノクロ/90分
松竹
監督:渋谷実
出演:佐田啓二 久我美子

5 (土・祝) 14:00 | 13 (日) 14:00 | 25 (金) 11:00

気違い部落

東京近郊に「気違い部落」と呼ばれる村があった。この村は機屋の良介と高利貸しの又一の二人の親分により統治されており、村の掟を法律より優先することがあった。ある日鉄次は祖父が村に寄付した土地をかってに開墾し、村八分にされてしまう。前近代的な農村社会を、欲望にとりつかれて気違い沙汰に見える人々という形で描いたコメディ的な社会派の作品。森繁久彌の語りが見事。



©1957松竹
1957年/35ミリ/モノクロ/134分
松竹
監督:渋谷実
出演:伊藤雄之助 淡島千景

6 (日) 11:00 | 16 (水) 14:00 | 19 (土) 14:00

悪女の季節

財産家の八代は68才で、元芸者の妙子と暮らしていた。妙子は八代の財産目当てだったが、八代は元一杯でなかなか死ぬ気配がない。とうとう妙子はガスで八代を殺そうとするのだが失敗し、今度は昔の馴染み客の片倉を引き入れ、八代殺害を企むのだった。命を狙われた主人公が、なかなか死なないというサスペンス・コメディ。欲望にとりつかれた人間達を痛烈に皮肉った作品。



©1956松竹
1956年/35ミリ/カラー/110分/松竹
監督:渋谷実
出演:山田五十鈴 岡田茉莉子

6 (日) 14:00 | 17 (木) 11:00 | 20 (日) 11:00

もず

新橋の小料理屋「一福」の女中すが子の元に、松山から娘のさち子が訪ねてくる。二人は20年ぶりの再開で、さち子は結婚に失敗し美容師になるため上京したのだった。しかしすが子は娘を嫌い、さち子は母親の乱れた生活を嫌悪するのだった。水木洋子原作のTVドラマの映画化作品。憎しみ会いながらも親子の情を通わせる女の内面を赤裸々に描き出した力作。



©1961松竹
1961年/35ミリ/カラー/97分
にんじんくらぶ
監督:渋谷実
出演:淡島千景 有馬稲子

9 (水) 14:00 | 17 (木) 14:00 | 26 (土) 14:00

バナナ

在日華僑総社会長の息子呉竜馬は、友人のサキ子がシャンソン歌手になるために、彼女の父親の説得に協力する。サキ子の父親・貞造はバナナの仲買人をしており、竜馬に大口のバナナの輸入許可証の発行を依頼するのだった。獅子文六の同名小説の映画化作品。金銭欲にとりつかれた大人たちの中で、若い二人が巻き起こす騒動を描いたコメディ映画。



©1960松竹
1960年/35ミリ/カラー/90分/松竹
監督:渋谷実
出演:岡田茉莉子 津川雅彦

10 (木) 11:00 | 18 (金) 14:00 | 27 (日) 14:00

好人好日

大学の教授である尾関は、世界的に有名な数学者だが、数学以外のことにはまったく無関心だった。そんな尾関が文化勲章を授与されることになるが、東京で宿泊したオンボロ旅館で、勲章を泥棒に盗まれてしまう。しかし尾関は勲章にも執着しない。尾関役の笠智衆のほのぼのとした演技、父親と妻、娘の家族愛が伝わる秀作。



©1961松竹
1961年/35ミリ/カラー/88分/松竹
監督:渋谷実
出演:笠智衆 淡島千景

10 (木) 14:00 | 18 (金) 11:00 | 27 (日) 11:00

酔っぱらい天国

会計課長の渥美耕三は妻に先立たれ、息子の史郎と二人暮らし。二人とも大の酒好きで、呑むと人が変わってしまい、警察のやっかいになることもしばしばだった。ある日史郎は恋人の親子との結婚を父親に宣言する。そして友人と飲みに出た史郎は、些細なことからプロ野球選手の片岡と喧嘩になり、バットで殴られて死亡してしまう。酒飲みの悲劇を描いた社会風刺映画。笠智衆が酒乱の父親を演じて興味深い。



©1962松竹
1962年/35ミリ/カラー/93分/松竹
監督:渋谷実
出演:笠智衆 倍賞千恵子

12 (土) 14:00 | 20 (日) 14:00 | 24 (木) 11:00

大根と人参

山樹東吉は商社会社の総務次長。ある日彼の世話で入社した弟の康介が、会社の金を使い込むという事件が起きる。山樹は自分の貯金を下ろして康介に渡し後始末をする。そして残りのお金を持って失踪してしまう。小津安二郎が遺作である「秋刀魚の味」の次の作品として企画していた映画で、「小津安二郎記念映画」として製作された。渋谷実が監督に指名されたことで、当時の渋谷監督に対する評価の高さが分かる。



©1965松竹
1965年/35ミリ/カラー/104分/松竹
監督:渋谷実
出演:笠智衆 乙羽信子

1・火	休館日		
2・水	休映日		
3・木/祝	11:00 奥様に知らずべからず 14:00 自由学校		
4・金/祝	11:00 本日休診 14:00 現代人		
5・土/祝	11:00 正義派 14:00 気違い部落		
6・日	11:00 悪女の季節 14:00 もず		
7・月	休館日		
8・火	休映日		
9・水	14:00 パナナ		
10・木	11:00 好人好日 14:00 酔っぱらい天国		
11・金	11:00 本日休診 14:00 奥様に知らずべからず		
12・土	11:00 自由学校 14:00 大根と人参 17:00 現代人		
13・日	11:00 正義派 14:00 気違い部落		
14・月	休館日		
15・火	休映日		
16・水	14:00 悪女の季節		
17・木	11:00 もず 14:00 パナナ		
18・金	11:00 酔っぱらい天国 14:00 好人好日		
19・土	11:00 奥様に知らずべからず 14:00 悪女の季節 17:00 本日休診		
20・日	11:00 もず 14:00 大根と人参		
21・月	休館日		
22・火	休映日		
23・水	14:00 本日休診		
24・木	11:00 大根と人参 14:00 自由学校		
25・金	11:00 気違い部落 14:00 正義派		
26・土	11:00 現代人 14:00 パナナ		
27・日	11:00 酔っぱらい天国 14:00 好人好日		
28・月	休館日		
29・火	休映日		
30・水	休映日		
31・木	休館日		



渋谷実監督 プロフィール

1907年東京の浅草生まれ。慶応大学英文科在学中に映画にひかれ、松竹蒲田撮影所に入社するようになる。牛原虚彦監督の見習い助手をして、30年に助監督として正式に入社。「限りなき舗道(34年 成瀬巳喜男監督)」「淑女は何を忘れたか(37年 小津安二郎監督)などで助監督を務めた後、「奥様に知らずべからず」

で監督デビューする。それまでの松竹映画の作風と違うドライなタッチの作品を作り、吉村公三郎、原研吉とならんで松竹期待の新人監督となる。特に「母と子(38年)は高く評価された。43年に召集を受け、中国大陸にわたり各地を転戦、広東で終戦を迎える。

戦後第一作は「情炎(47年)だが、脚本に手を加えて脚本家と衝突する。以後しばしば脚本に手を加えてトラブルを起こす監督として知られるようになる。しかし「自由学校」「てんやわんや(50年)」「本日休診」など、戦後の社会風俗を喜劇的に、そして批判的に描いた作品は高い評価を受け、小津安二郎、木下恵介と並んで松竹の三大巨匠と言われる。コメディ映画のとほしい日本では特に貴重な存在であった。しかしコメディだけでなく「現代人」「正義派」など冷徹な人間観察を通した社会批判的な作品にも佳作が多くある。1980年死去。門下から似た作風の川島雄三監督が出たことでも注目されている。

※渋谷実監督の名前の表記には渋谷實、渋谷実がありますが、この特集上映では渋谷実に統一いたします。

Information

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号
福岡市総合図書館(代表): tel.092-852-0600
映像資料課: tel.092-852-0608 fax.092-852-0609



福岡市総合図書館映像ホール・シネラ ホームページ

らえぶシネラ <http://www.cinela.com>

Access

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

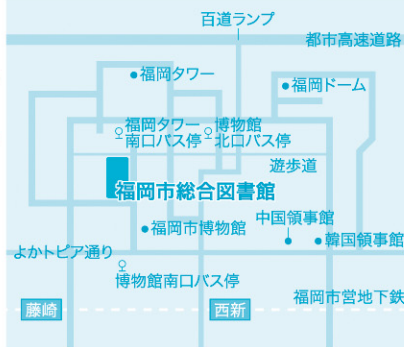
市営地下鉄

西新駅または藤崎駅下車徒歩15分

西鉄バス

●博多駅、天神、西新から福岡タワー南口下車徒歩5分または博物館南口下車徒歩5分

●藤崎から福岡タワー南口下車徒歩5分
◎所要時間は交通事情により異なります。
バス運行時間、目的地までの所要時間の目安、またお近くのバス停からのご利用については西鉄お客様センター[[tel.0570-00-1010](tel:0570-00-1010)]に直接お問い合わせください。



第316回プロムナードコンサート

◆◆◆月に一度のお昼休みのクラシックコンサート◆◆◆

日 時: 2012年4月19日(木) 12:00~13:00 ※入場無料
場 所: 西日本シティ銀行本店1Fエントランスホール(福岡市博多区博多駅前3-1-1)
曲 目: ベートーヴェン作曲 弦楽四重奏曲第10番変ホ長調 Op.74「ハーブ」他
演奏者: 福岡ハイドン弦楽四重奏団
主 催: 財団法人福岡文化財団 TEL.092-473-6777

